

RUG

Autodesk
Revit User Group Japan

意匠ワークフロータスクフォース

RUG(意匠ワークフローTFメンバー)

大林組 中嶋 潤

石本建築事務所 管原雄一郎、渡邊 純矢、杉山 雄一郎

久米設計 古川 智之、佐藤 久美子

佐藤総合計画 網元 順也、齋藤 崇志、糸島 光洋、松田 未希、三宅 奈美

大和ハウス工業 朴 宰弘

東急建設 橋口 達也、江川 暁子

東畑建築事務所 上羽 一輝、柱 健太郎、馬場 大輔

日建設計 安井謙介、山崎 寛、緒方 智規

日建ハウジングシステム 田中 喜仁、中村 直人

日本設計 村井 一

松田平田設計 松下雄大、旭山陽子

安井建築設計事務所 戸泉 協、幡宮 祥平

Autodesk 山田 渉、三井 真則

順不同

RUG
Autodesk
Revit User Group Japan

意匠ワークフローTF目次

1. 今年の活動報告
2. 今後の予定

1. 今年の活動報告

① 昨年度から発足していたRUG意匠Extension検証TF

② 新しいTFの立ち上げ

- 確認申請TF
- 集計表(コスト)TF
- DynamoTF

1. 今年の活動報告

確認申請TFの目的

- ・ **Revitを活用した確認申請書類の作成フローについて検討するTFです。**

- ・ 既に4号建築物においてはRevitのネイティブデータを用いた建築確認申請手続きが実現しており、住宅などを中心に活用が期待されます。
- ・ 一方で中規模以上の建物では区画の表記や面積拾いなどの課題が考えられます。本TFにおいては提出媒体の在り方も含め、作業効率化のためのワークフローの提案を目指しています。

1. 今年の活動報告

集計（コスト）TFの目的

- ・ **Revitの数量集計を活用した、設計フェーズごとの概算・積算の方法を検討するTFです**
- ・ 設計の進度に応じた数量集計フローやカテゴリー別の集計方法について、Revitのデータ構造と照らし合わせながら整理することで、円滑なコスト検証を可能にするワークフロー提案を目指します。

1. 今年の活動報告

DynamoTFの目的

- ・ **Revitをより効率的に使うためのビジュアルプログラミング言語、Dynamoについて検討するTFです。**
- ・ 国内外の活用事例を分析することで、ツールの特性や開発の動向を把握し、設計の合理化・高質化につながるワークフローの提案を目指します。

2. 今年の予定

① 引き続きRUG意匠Extension検証TF

② 新しいTFの立ち上げの活動

- 確認申請TF
- 集計表(コスト)TF
- DynamoTF

2. 今年の予定

確認申請TFの活動予定

LEVEL 1

- 各社のBIM申請状況調査

LEVEL 2

- BIM申請の利用シナリオを整理する

LEVEL 3

- 申請用ファミリやTIPSの整備

LEVEL 4

- Revitネイティブデータによる申請

2. 今年の予定

集計(コスト)TFの活動予定

LEVEL 1

- 数量集計のフェーズ整理

LEVEL 2

- Revitのカテゴリ別集計の整理

LEVEL 3

- 集計数量の活用フロー構築

LEVEL 4

- 建築・構造・設備展開

2. 今年の予定

DynamoTFの活動予定

LEVEL 1

- Dynamoの活用動向を把握する

LEVEL 2

- 建築での活用事例を体系化する

LEVEL 3

- 確認申請・集計での活用法を提案する

LEVEL 4

- 建築・構造・設備展開

ご清聴ありがとうございました